

教育要項（シラバス）のご提出にあたって

教育要項のご提出は、以下の要領にてお願い致します。

【作成・送付方法】

- ①書式ダウンロード→メールにて送付
インターネットの当校ホームページ【<http://www.tokyo-igaku.com>】より記入書式をダウンロードしてご入力頂き、添付書類としてメールにて【info@tokyo-igaku.com】までお送り下さい。
- ②書式ダウンロード→磁気媒体にて送付
インターネットの当校ホームページ【<http://www.tokyo-igaku.com>】より記入書式をダウンロードしてご入力頂き、フロッピーディスクなどにてご郵送下さい。
※ ご希望の先生には書式の入ったフロッピーも用意致しますので、お申し出ください。
- ③電子データによる方法がとれない場合、同封致しました用紙にご記入の上、お送り下さい。

作業効率を高めるため、出来るだけ①のメールによる添付ファイル送信にてのご提出の程、ご協力をお願い致します。

ご記入・ご入力の留意点

シラバス用紙はPDFファイルで、アクロバットリーダーが必要となりますので、PCにインストールしてください。ファイルを開いた後、記入箇所がハイライト表示されていますのでそれぞれ入力してください。

- ◎授業科目・開講時期・学年につきましては、委嘱書に記載を致しました内容にてご記入ください。
- ◎授業形態は「講義」「実習」の区分でチェックして下さい。
- ◎科目区分と単位数は当方にて記入致しますので、チェックの必要はございません。
- ◎【目標】につきましては、授業の概要や教育の目標とするところをご記入ください。
- ◎【学習上の注意事項】は先生からの学生への注意やアドバイスなどをご記入ください。
- ◎【授業内容】1講義ごとの内容をなるべく詳しくご記入ください。
- ◎【教科書・参考書】はお使いになる教科書並びに副読本等をお書きください。
- ◎【成績評価法】は原則として定期試験にての判定となりますが、レポート提出・実技など評価対象となるものをご記入ください。

ダウンロード・メール送信につきましてご不明な点は、事務課 馬場・安藤までご連絡ください。

〒130-0015 東京都墨田区横網1-10-8

東京医学技術専門学校

TEL : 03-3626-4111 FAX03-3626-2029

<http://www.tokyo-igaku.com> info@tokyo-igaku.com

＜記入例＞

科目区分	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎分野	<input type="checkbox"/> 専門基礎分野	<input type="checkbox"/> 専門分野	<input type="checkbox"/> 選択必修分野
授業科目名	微生物学		担当教員	鳥海 純
開講時期	<input checked="" type="checkbox"/> 前期	<input type="checkbox"/> 後期	学年	1 学年
			授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習
			単位数	

※科目区分・授業形態・開講時期はチェックをして下さい

【 目 標 】	
<p>微生物とは、文字どおり肉眼では見えないが、顕微鏡（電子顕微鏡を含む）によって観察される微小かつ単純な生物である。微生物は原生動物・真菌・細菌（リケツリア、クラミジアを含む）・ウイルスに大別されるが、原生動物は医動物学で扱われる。医学の領域で扱う微生物学の主要部門は、病気がはたして微生物による感染症であるのかどうか、その原因微生物をどのようにして見つけるか、微生物の種類と性状はどうであるか、いかに迅速にかつ正確に原因微生物を決定し治療に役立てるか、化学療法を主とした治療法や感染の予防などである。本講義は、微生物の形態、生理と機能、遺伝などの基礎から、上記の内容について総論的に学ぶものである。その範囲は、病原微生物、ヒトの常在菌叢を形成しているものから環境常在の微生物まで含まれる。</p>	
【 学習上の注意事項 】	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 細部にとらわれることなく、ポイントを絞り微生物学の全体像を把握すること。 2. 教科書の口絵や図、さらに図解臨床細菌検査により視覚的に学習すること。 	
【 授業内容 】	
回	授 業 内 容
1	微生物学、臨床微生物学とは
2	病原微生物の分類
3	細菌の大きさ、形態、配列
4	細菌の微細構造及び外部構造（細胞壁、核様物質、莢膜、鞭毛、線毛、芽胞）
5	細菌の代謝と発育（呼吸と発酵）
6	代謝（炭水化物、窒素化合物脂肪）、細菌の増殖、細菌数の測定法
7	細菌の観察法と染色法、細菌の発育条件（細菌の化学組成、栄養素、栄養要求）
8	培養目的、培地の成分、培養に必要な物理的条件、培地の分類、好気・嫌気・炭酸ガス 塩耐性・胆汁酸・BTB 色素による分類
9	抗生物質（ゲンタマイシン・カナマイシン・ペニシリン他） 濃度差による薬剤感受性試験
10	菌交代現象・日和見感染・バイオハザード・院内感染と新興感染症 細菌の精度管理
11	血清型による同定 同定キット、遺伝子診断 理論と実際
12	真菌類（アスペルギルス属・カンジダ属 他） 菌糸 孢子（形態・色・他）
13	各種培養法、検体別検査法、血液検査法、髄液検査法、尿検査法、糞便検査法 胃液検査法 同定・鑑別検査法 復習
14	DNAウイルス RNAウイルス ウイルス培養 同定方法
15	各種顕微鏡スライド標本 グラム染色 芽胞染色 鞭毛染色 抗酸菌染色 他

教科書・参考書	医歯薬出版（微生物学講座）・図解臨床細菌検査・プリント
成績評価法	定期試験、ノートの提出、小テスト、レポート 等